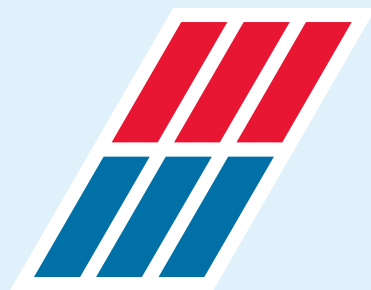


# 04年3月期 決算説明会

2004年4月27日



日立物流

# 03年度 連結業績



(億円、端数四捨五入)

	02 実績	03 目標	03 実績	前年比 (%)	目標比 (%)
営業収入	2,547	2,600	2,648	104	102
営業利益	(2.2) 57	(2.7) 69	(2.8) 73	128	106
経常利益	(2.3) 60	(2.7) 70	(2.8) 75	125	107
当期純利益	(1.0) 26	(1.4) 36	(1.6) 43	164	121

(注) ( )内は利益率(%)

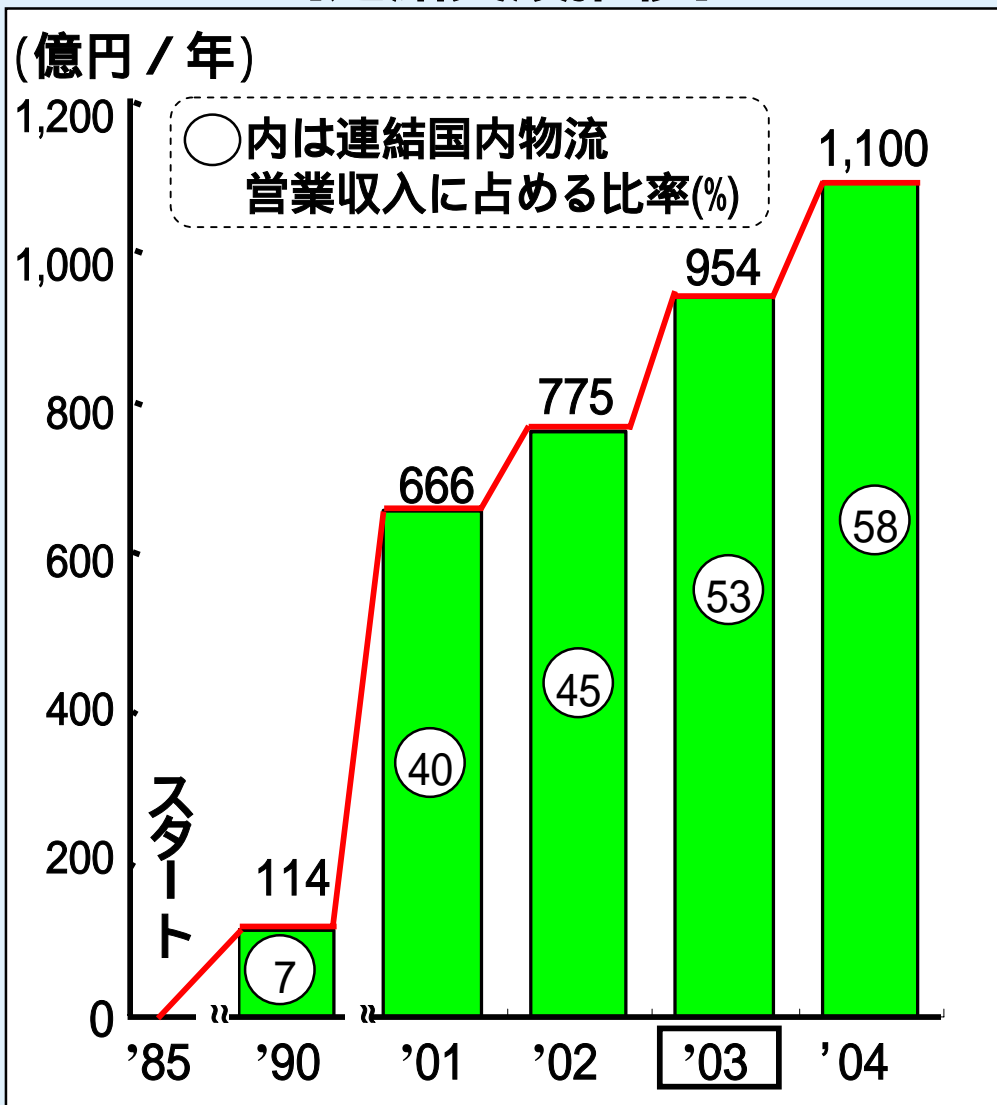
## [セグメント別営業収入・営業利益]

(億円、端数四捨五入)

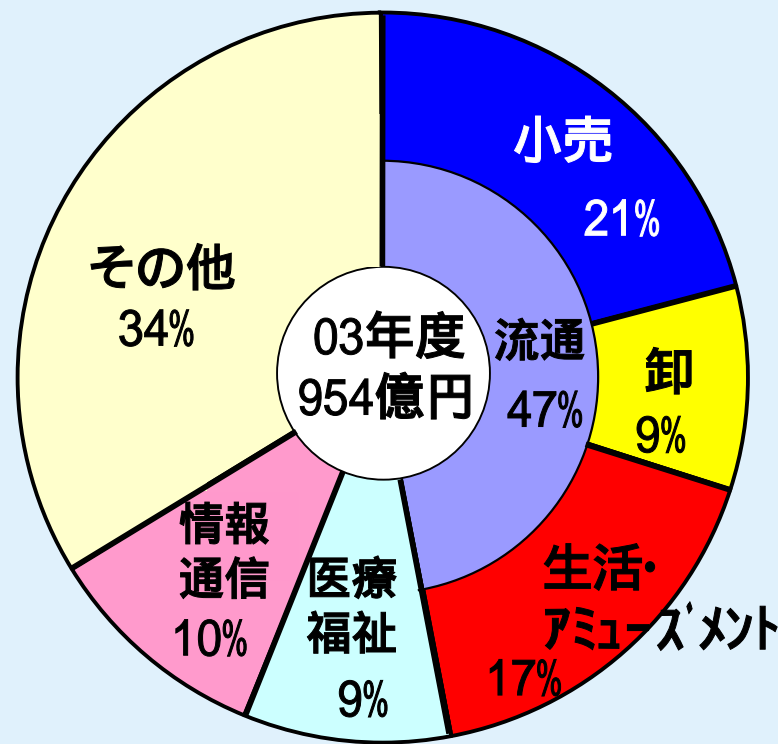
	営業収入		営業利益	
	03実績	前年比(%)	03実績	前年比(%)
国内物流	1,809	106	110	127
システム物流	954	123	—	—
システム以外	855	91	—	—
国際物流	515	100	12	94
その他	324	103	7	92

# 1. システム物流の状況

## 【連結実績推移】



## 【03年度業種別営業収入比率】



03新規立上げ案件 18件

# 2. 国際物流の状況

## 北米

- メキシコボーダー物流事業拡大 (自動車関連顧客等)
- 現地工場物流低調

## 欧州

- 建設機械等の取扱い強化
- その他現地工場物流低調

## 東南アジア

- 自動車部品等の取扱い強化
- 現地工場物流低調

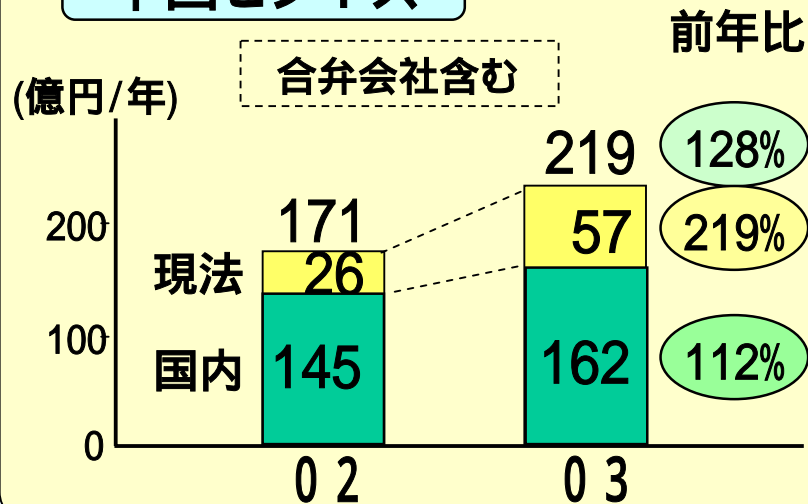
## 日本

- 中国からの輸入、中国への設備機器輸送等好調
- 日本発低調  
海上:大型プラント案件出荷物量減  
航空:北米向け輸送減

## 中国

- アパレル関連顧客向け輸出入サービス好調
- ネットワーク体制の強化 (6社 27拠点 1,100人)
  - ▶ 華東:上海航空との合併会社 (大航)が順調に業容拡大
  - ▶ 華南:(EHB)が04/1営業開始

## 中国ビジネス



# 3. 営業・運営体制の強化

## グローバル営業体制強化 (04.4.1)

ロジスティクスソリューション統括本部

システム事業開発本部

グローバル事業開発本部

グローバル3PL  
営業体制の強化

中国事業推進本部

中国関連事業の拡大

エンジニアリング開発本部

## 国内グループ会社再編

(04.7.1)

	再編
茨城地区	3社 → 1社
中四国地区	3社 → 1社
海空会社	3社 → 1社

## 「業務革新推進本部」新設

(04.2.16)

狙い

- 日立物流グループ全体の管理・間接コスト削減
- 連結ベースでの高収益体制の確立

# 3. 営業・運営体制の強化

## 事業拠点の新設と再構築

**九州** (04/2)

スクラップ&ビルド

敷地: 13,800坪  
建物: 16,500坪

**石川** (03/10)

北陸物流センター  
敷地: 8,500坪  
建物: 2,600坪

**大阪** (04/12予定)

西大阪物流センター  
敷地: 5,900坪  
建物: 11,500坪

**新潟** (03/8)

新潟物流センター  
敷地: 6,900坪  
建物: 2,500坪

**北海道** (03/8)

スクラップ&ビルド

敷地: 9,500坪  
建物: 3,900坪

**関東(埼玉)** (05/4予定)

トイテリ-共同物流センター  
敷地: 11,500坪  
建物: 17,500坪

**関東(千葉)** (04/11予定)

野田物流センター  
敷地: 20,700坪  
建物: 23,800坪

# 次期連結業績見通し

6

## 重点施策

- コア事業の強化・拡大  
(システム物流・グローバル物流)
- コスト競争力の強化
- 高品質サービスの提供

ロジスティクスソリューションを  
強みとした高収益企業の確立  
- CSRを重視した経営 -

(億円、端数四捨五入)

	03実績	04目標	前年比(%)	05目標	前年比(%)
営業収入	2,648	2,660	100	2,860	108
営業利益	(2.8) 73	(3.1) 82	112	(3.5) 100	122
経常利益	(2.8) 75	(3.1) 83	111	(3.5) 100	120
当期純利益	(1.6) 43	(1.7) 46	106	(1.7) 50	109

(注) ( )内は利益率(%), 内は旅行代理店業営業収入計上方法変更前